

昭和
100年
1926-2026

みんなが紡いだ不死鳥のまち。



令和8年夏季特別展

昭和 100年 ふくいのおゆみ



2026

8.7(金) - 9.27(日)
9/7・8は休館日

観覧料 一般700円・高大生500円

開館時間 午前9時～午後7時 ※入館は閉館の30分前まで

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料。※20名以上の団体は2割引

共催 / 福井新聞社

後援 / NHK福井放送局、福井放送、福井テレビ、FM福井、
福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、福井街角放送

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1 TEL.0776 (21) 0489

✉ kyoudo@city.fukui.lg.jp



1926年から始まる昭和の時代、福井市は市域拡大や戦災、そして復興により、まちの姿を大きく変えてきました。その変わりゆくまちに生きた人びとの営みは、印刷物、写真、映像、音声などさまざまな形で記録されています。

昭和28年(1953)に戦災復興のシンボルとして足羽山に開館した当館は、現在に至るまで郷土福井に関する資料の収集に努めてきました。本展では、当館が73年の間に収集した昭和期における都市福井の移り変わりや、福井に生きた人びとの営みを感じ取ることのできる資料を一堂に展示し、昭和期の福井市が経験した成長、挫折、そして復興の過程を紹介します。

※当企画は内閣官房「昭和100年」関連施策の一環として開催いたします。

戦時下の人々



▲昭和8年のだるまや百貨店(当館蔵、AIによる着色加工)

◀昭和13年版の修身教科書(当館蔵)

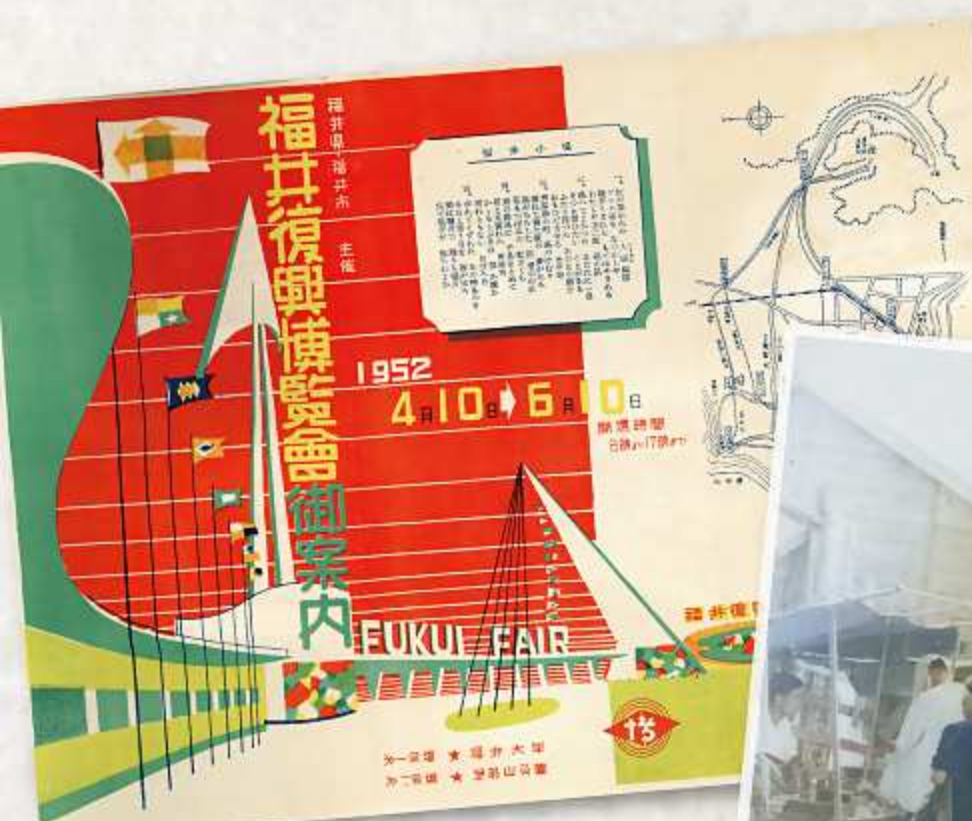


▲昭和15年の福井高等女学校修学旅行行程図とお土産(当館蔵)



▲東京防空戦で墜落した五式戦闘機のプロペラと同機の操縦士・平馬康雄曹長(福井市出身、後列右端)(当館蔵)

▲空襲直後、まだ煙が立ち込める福井市街(当館蔵)



福井震災後の福井駅前▶仮設の商店が立ち並び(当館蔵、AIによる着色加工)

◀福井復興博覧会パンフレット(当館蔵)



復興への道のり

昭和43年福井国体時の福井駅前(当館蔵)▲

ギャラリートーク

同時開催

担当学芸員による展示解説(参加自由・要観覧料)
8/15(土)、9/5(土)、12(土)、21(月・祝)、26(土) ※14時~45分程度
「ふくい・昭和の風景」写真パネル展(観覧無料)

福井市立郷土歴史博物館

福井市 郷土

検索

〒910-0004 福井市宝永3-12-1
TEL.0776(21)0489



あわせてご覧ください!

福井県立歴史博物館特別展 福井の昭和「百年」史
2026.8.1(土)~10.12(月・祝) ※会期中休館日:9/7(月)~11(金)
前期:8/1(土)~9/6(日) / 後期:9/12(土)~10/12(月・祝)
観覧料:一般400円・大学・高校生300円・小中学生・70歳以上の方200円
詳しくはHPをご覧ください。 <https://www.pref.fukui.lg.jp/muse/Cul-Hist/>

